

20万人のひろば



ありがとうございました



▶児童発達支援センターに寄贈された玩具など

「児童福祉のために役立ててください」と、八千代ライオンズクラブ様よりトランポリン・子供用自転車、ボランティアグループ YACHIROCK 様より木製パズル・早押しボタンの玩具などを児童発達支援センターにそれぞれ寄贈いただきました。いただいた玩具などは、施設を利用する子どもたちのために活用させていただきます。



▶感謝状贈呈式での古塩勝彦社長と服部市長

ホームズ不動産販売株式会社から新型コロナウイルス感染症対策として、防護服100セット、KN95マスクおよびフェイスシールド各1000枚、消毒用アルコール15缶を市に寄贈いただきました。いただいた物品は、市内の医療機関に提供させていただくほか、本市の新型コロナウイルス感染症対策に活用させていただきます。

佐川急便株式会社と災害時における支援物資の受入れ及び輸送等に関する協定を締結しました

佐川急便株式会社と八千代市は、災害時における支援物資の受入れ及び輸送等に関する協定の締結を行いました。

災害発生時に同社が所有する倉庫の提供や輸送に関する支援を受けることにより、全国から送られてくる支援物資が円滑に避難所などに輸送されることで、被災した市民の生活の質の向上が期待されます。

市では、災害時に民間企業の支援を受けられる仕組みづくりなど、災害発生時を想定した対策を今後も進めていきます。



▲福元俊朗佐川急便東関東支店支店長と服部市長

ミニ・ガイド

■精神障害者家族 対話と交流の会

精神障害者を身内に持つ家族を対象に「親亡きあと 自立プラン」をテーマに講演会および対話と交流の集いを開催します。2月24日(木) 午後1時30分～4時、プラッツ習志野(習志野中央公民館)北館研修室。申し込みは、電話またはFAXで習志野八千代心の健康を守る会 渡邊 ☎453-6760へ

■募集 「ものづくり分野」公共職業訓練受講生

ポリテクセンター千葉では、再就職希望者向けの専門知識・技能を学ぶための公共職業訓練を実施しています。受講料は無料、テキスト・作業服などは自己負担です。筆記・面接による入所選考あり。事前予約制の説明会あり。

【4月生】▶訓練科・定員 「生産設備科」16名 「生産システム・ネットワーク技術科」24名 ▶訓練期間 7か月 ▶募集期間 1月21日(金)～2月18日(金) ▶入所選考 3月5日(土) ▶説明会 2月15日(火) 午後1時から3時間程度(要予約)

【5月生】▶訓練科・定員 「建築CAD・サービス科」32名 ▶訓練期間 6か月 ▶募集期間 2月17日(木)～3月18日(金) ▶入所選考 4月5日(火) ▶説明会 3月15日(火) 午後1時から3時間程度(要予約)

▶問合せ・予約 ポリテクセンター千葉 訓練第一課 受講者係 ☎043-422-4810へ (商工観光課)

ちば自治会サミットが開催されました

環境や福祉など地域問題が多様化・複雑化する中、地域での困りごとを解決していくためには、行政だけでなく地域に住む様々な人たちが力を合わせていくことが求められています。

県内の複数の自治会が集まり、それぞれの活動の紹介や抱える課題を話し合う「ちば自治会サミット」が市内で開催されました。本市の緑が丘西自治会が主催し、取り組んでいる活動や柏市、成田市からも報告を行いました。

また、行政側として柏市地域支援課地域づくりコーディネーターである小齋さんから、柏市での自治会支援として、コーディネーターが行政と自治会を結びつける役割を担い、きめ細やかな支援を行う仕組みについて説明がありました。

最後のグループディスカッションでは、それぞれの自治会活動を通して気付いたことやこれからの自治会についての提案など、活発に意見交換が行われました。



▶グループディスカッションの様子

リサイクル・ガイド 消費生活センター☎483-1151(代表)

●受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時。市内在住の人が対象です。企業・営利団体は利用できません。【ゆずります・無料】▶猫のトイレ(ドーム型)／白・横40cm奥行50cm高さ40cm ◆上記の他にも、市役所1階ロビーや市ホームページでもリサイクル品情報を紹介しています。

八千代歌壇

鶴岡 美代子選

夜空よりこぼれし星かと露天風呂に浮く照明を両手で抱ふ
(八千代台東) 一戸 光代
還暦の息子の声はしみ帯び他人のごとくにわが耳を打つ
(天和田) 坂井 ワカ
香水が仄かに迫り密かもと歩み緩める駅前通り
(天和田) 井上 正則
新しいカレンダーの余白には予定書ききき惚けていられぬ
(大和田新田) 増尾 克子
両親もつれあひも送り米寿なる姉は待ちあますわれに会ふ
日を
(八千代台西) 藤野 宏子
柿の葉がわれの百会にふれて落つまるで佳味かと問わんば
(大和田新田) 諏訪 俊一
カラスにも会いたくなくて柿の実を枯枝につけて待つ午後三
(八千代台北) 村田 一江
新川の土手道踏ぐ富士美橋雪の遠富士初日に染まる
(大和田新田) 小針 光
菊なます柚子味噌作りビンに詰め配るが楽しき母譲り
(桑 橋) 野田 節子

選評 一首目、星空の下の露天風呂はさぞ気持のよいことだろう。遊び心に胸う照明の光をこぼれてきた星と表現した美しさが光る。二首目、しみのある声に、息子がから成熟した大人を感じた。それは頼りになる存在となったことでもあり、「打つ」は親に意見したようにみえる。三首目、とかく硬くなるコロナ禍の歌をやわらかいタッチで詠んだ意外性が新鮮だった。

やちよ川柳 八千代川柳連盟選

老ふたり作る食事はひとりまえ 高 津 石川 豊子
意志強し口のへの字が緩まない 八千代台西 伊藤 宙
スマホゲーム見えない敵に意地をはる 勝田 台 喜田 橙
お受験へ親は熱中子はクール 八千代台北 新木さち子
甲子園母校の出番かじり付き 勝田 台 芹田 慶玉
安楽な方へ傾く老いの日々 勝田 台 伊藤 良江
決めた道振り向かないで福寿草 勝田 台 松野久美子
四冠に妙手聞きたいオミクロン 八千代台北 渡邊ひろし
人生の足元覗く水たまり 八千代台北 小川 剛毅
偶然がノーベル賞になる化学 村上 佐藤 昌平
母の味継いだおせちを囲む笑み 緑が丘 長壁 節子

防災無線自動電話応答サービス
☎0120(970)911
24時間以内の防災無線放送の
内容を確認できます
無通話料